



「鉄は熱いうちに打て」を信念に設立されたアイアンストライカーズ社会保険労務士法人。同法人は、時代にマッチしたスマートな労務管理の提案を通して、人事労務相談、社会・労働保険手続、給与計算、人事制度構築、年金相談などの悩みに応えている。創業者で代表社員を務める濱本絵美氏は、顧客情報を守り事業の信頼性を高めるためにSophos MDR Essentialsを採用した。

## CUSTOMER-AT-A-GLANCE



**IronStrikers**  
Labor and Social Security Corporation  
アイアンストライカーズ社会保険労務士法人

## アイアンストライカーズ社会保険労務士法人

本 社 所 在 地 〒183-0055 東京都府中市府中町1-12-7  
府中センタービル501

WEB サイト <https://iron-strikers.or.jp>

ソフォスソリューションズ Sophos MDR Essentials

小規模な事業所でインシデント発生を100%防ぐことは難しく、発生後の対処に専門的な知識が必要と判断し、Sophos MDR Essentialsを選びました。

アイアンストライカーズ社会保険労務士法人  
代表社員  
濱本 絵美 氏



2018年にアイアンストライカーズ社会保険労務士法人を設立した代表社員の濱本絵美氏は、国産ERPパッケージのシステムベンダーや外国産ERPパッケージのシステム導入コンサルタント会社などでキャリアを積み、出産を契機に2010年に社会保険労務士の個人事務所を開設した。その後、順調に業績を伸ばし、職員数も増え、社会的信用を更に得るため個人から法人にした。労務に関する個人情報を取り扱う関係からセキュリティ対策は必須であり、同法人では、急増するサイバー攻撃のリスクを削減するために専門的な対策が必要と判断した。そこで、独立行政法人情報処理推進機

構(IPA)の「サイバーセキュリティお助け隊」を活用して、Sophos MDR Essentialsを導入した。

## ビジネスチャレンジ

「高いITスキルだけでは防ぎきれないサイバー攻撃の脅威」

Sophos MDR Essentials導入の背景について、アイアンストライカーズ社会保険労務士法人 代表社員の濱本絵美氏は、次のように振り返る。

「弊所の業務は数多くの個人情報扱う

ことが主たる業務なので、セキュリティ対策は必須です。IT企業に勤めていた経験から、OSやアプリケーションの更新、ウイルス対策ソフトの導入、パスワード管理の強化、データベースへのアクセス制御など必要最低限のセキュリティ対策は当然と考え実践してきましたが、近年、ランサムウェアの被害が増えているという報道を耳にする機会も多くあり、インシデントの発生を100%防ぐことは難しいと考えていました。また、発生後の対処には専門的な知識が必要となり、弊所内だけでの対応が難しいと感じていました。大企業並の高度な監視体制を整えたセキュリティ対策は、費用や人材の面

においても容易なことではありません。」  
2010年の設立から順調に業績を伸ばし、複数の職員が働くようになった同法人では、元々リモートワークができる体制を構築していたため、コロナ禍においても業務を普段とおり継続できていたが、コロナ禍を経てテレワークを活用した柔軟な働き方はますます浸透している。そうした背景から、個人のITスキルに頼るサイバーセキュリティ対策には限界があった。濱本氏は「職員が増え、働き方も柔軟になったことで、サイバー攻撃のリスクは増えています。それだけに、セキュリティの専門家がない弊所のような小規模な事業者でも、サイバー攻撃の脅威を防ぐ対策はないか探していました」と説明する。

## テクノロジーソリューション

「サイバーセキュリティお助け隊がきっかけでSophos MDR Essentialsを選択」

濱本氏がSophos MDR Essentialsを

知ったきっかけは、経済産業省の政策実施機関の独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が提供している「サイバーセキュリティお助け隊サービス」だった。同サービスは、中小企業・小規模事業者向けのサイバーセキュリティ対策で、登録されている事業者はIPAの審査に合格したサービスとソリューションを提供している。

濱本氏は「サイバーセキュリティお助け隊サービスのサイトでは、利用したい地域から事業者を選べるのですが、関東では数十社が表示されます。数多くの事業者の中から弊所に合ったサービスを選ぶのは難しかったため、提供されているセキュリティ監視サービスの種類に注目しました。監視サービスには、ネットワーク監視型と端末監視型という2種類が用意されていたのですが、多くの事業者はどちらか一方しか提供していませんでした。その中で、2種類に加えて両方利用できる併用型も提供している『AXIS総合セキュリティパック』に注目して、オンラインから問い合わせしました」と選定の経緯を話す。

AXIS総合セキュリティパックを提供してい

る株式会社アクシスは、東京に本社があるITソリューションのサービスプロバイダーで、ソフォスの販売代理店として数多くの製品とサービスを提供している。代表取締役 CEO の宮腰行生氏は、セキュリティ関連のエキスパートとしてSophos MDR Essentialsを次のように評価する。

「小規模な事業所では、サイバーセキュリティ対策の社内ツールも人材もプロセスも不足していると実感しています。Sophos MDR Essentialsは24時間365日のフルマネージドサービスでこうした課題を解決するうえ、ソフォスのMDRは他社サービスと異なり、1ライセンスからでも購入できるメリットがあります。当社のAXIS総合セキュリティパックは、Sophos MDR EssentialsとSophos XGS Firewallをセットにして提供し、アイアンストライカーズ様のような小規模な事業所でも、ランサムウェアに代表される人間主導型の高度な攻撃を阻止し、本格的なインシデント対応を実現します」

## ビジネスインパクト

「専門家に任せられる安心感と顧客からの信頼感の向上」

AXIS総合セキュリティパックを通して、Sophos MDR EssentialsとSophos XGS Firewallを導入した濱本氏は「万が一のインシデント発生時にも、その対応を世界的なセキュリティベンダーの専門家に任せられるという安心感が得られました。導入後は、定期的にクラウド管理ソリューションのSophos Centralにログインして、職員のPCに異常がないかを確認しています。弊所では、業務で数多くの個人情報を取り扱うため、Sophos MDR Essentialsによって、24時間365日、安全に守られているという高度なセキュリティ対策の導入は、顧客からの信頼度の向上につながります」と効果を語る。

さらに「これまで、24時間365日の監視体制は、一部の大手企業に限られたセキュリティ対策だと思っていましたが、Sophos

MDR Essentialsであれば小規模な事業者でも高度な対策をリーズナブルに導入できると知りました」と評価する。

## フューチャービジョン

「自らの経験や知見を顧客や業界に啓蒙していく」

IT企業での業務経験がある社会保険労務士として、業務のデジタル化について業界で話に触れる機会も多い濱本氏は「社会保険労務士の業界でも、労働保険・社会保険の手続きなどは、今や電子申請が主流となっています。こうした背景から、情報を安全に保管し、有効に活用して、お客様にさらに喜ばれるサービスの提供が求められています。弊所で実感したSophos MDR Essentialsによる安心感や、セキュリティ対策の強化に向けた取り組みは、社会保険労務士の業界にも伝えていきたいと思います。また、弊所のお客様でセキュリティ対策

に課題を抱えている小規模な事業者にも、『AXIS総合セキュリティパック』を紹介していきたいです」と期待を寄せます。

さらに「日本は、労働力人口が下がり働き手が減少し、テレワーク等による時間や場所にとらわれない多様な働き方が求められていきます。今後は、これまで以上に業務のデジタル化を加速していかなければ、人材の確保が困難になるでしょう。それだけに、柔軟な働き方に配慮しつつ安全性と利便性を両立させるセキュリティ対策は、あらゆる事業者にとって必須となってきます。加えて、パンデミックや自然災害のような不測の事態に備えて、業務を止めない仕組み「IT-BCP」の対策も求められています。こうした経営面での課題に対して、どのようなセキュリティ対策を推進していくべきか、これからもアクシス社を通してSophosの最新情報やソリューションを伝えてもらえたらと思っています」と語ります。